

無所属

すだむつみ

尼崎市議会議員 須田和の



# わくわくねっとニュース

むつみ

2010年4月 第4号 / 発行元: 須田和とわくわくねっと 発行責任者: 須田和

連絡先: 尼崎市議会「緑のかけはし」議員室 〒660-8501 尼崎市東七松町1-23-1

電話: 06-6489-6950 e-mail: mutsumi.suda@energy.ocn.ne.jp

インターネット: 「日記」更新 <http://www.ac.auone-net.jp/~suda>

## 第5回市議会定例会 市長施政方針から…

2月22日から3月25日まで開催された議会では、82件の議案、請願1件、陳情11件を審議しました。須田和にとっては初めての「予算議会」です。会派内で勉強と討議を1月から重ねて、通称「勉強会」と言われる当局の予算説明を受け、3月25日までの長い会期中、市の提出された議案・予算案のその背景や影響なども考えあわせて、須田和は全議案に賛成いたしました。

開会の2月22日、白井文市長は「夢、アシスト、あまがさき—みらいのあなたのために、私たちのあしたのために—」と題した平成22年度の施政方針\*1演説をされました。厳しい財政状況の中での住民福祉について、将来負担とのバランスを考えながら公約・マニフェストの実現に向けて努力してきたと語られました。そして施策の重点化方向として ● 安全安心のパラダイム・シフト「対処」から「予防」へ ● 未来への人“財”づくり ● 持続可能なまちづくり をあげられました。

また、予算編成では、法人市民税の大幅な減少と扶助費\*2の増加などにより、さらに厳しい状況であるなか、人件費も含めた内部での管理経費の縮

減や、私たち市民の生活に直接影響する「市バス特別乗車証制度」の見直し、施設使用料の改定(値上げ)などを提案されました。また、収支不足に対して、基金\*3と市債\*4の活用などの財源対策が講じられました。

2月25日、文教委員会では教職員の特殊手当に関する条例改正と補正予算を採決し、陳情(公共施設の利用料金値上げや分館の見直しの計画)について審議、予算特別委員会への付託と、継続審議を決めました。 → 裏面2ページへ続く

\*キーワード \*1施政方針は市役所サイトトップページ> 市が考える尼崎>施政方針で、予算の概要は 市の財政 > 予算について > 予算の概要 で見ることができます。/\*2扶助費 生活保護法、児童福祉法などの法令に基づいた生活保護費や児童手当などの支給や、市が単独で行う各種扶助のための経費です。/\*3基金 特定の目的のためにその資金を積み立てる基金(積立基金…【例】財政調整基金)と特定の目的のために定額の資金を運用する基金(定額運用基金…【例】歴史博物館資料取得基金)/\*4市債 歳入の不足を補い資金調達のために市が発行する債券。一会計年度をこえて返済する長期的な借入金。

## 尼崎市議会議員 須田和のわくわくニュース第4号をお届けします



このわくわくニュースは、須田和の応援をしてくださった方、その方からご紹介いただいた方、名刺交換させていただいた方に郵送し、また市内の一部の地域にはポスティングをさせていただいています。日頃連携している、いなむら和美県議のニュースといっしょにお届けするものです。執筆・編集は須田和が、校正、印刷や発送は応援団が伝えてくださっています。制作・発送・配布の費用は、須田和の報酬でまかなっております。ご一読いただき、お気軽にご感想などをお寄せください。ご住所・お名前の表記やお届けについてお気づきの点などもご遠慮なくお知らせください。

## 第5回市議会定例会 … 議決・予算成立へ

→ 1ページから続く

代表質疑は各会派の代表が施政方針に対して質問するものです。「緑のかけはし」は、酒井一幹事長が3月5日に登壇し、老人市バス無料パスの見直しと市バス経営、地域高齢者福祉、住民組織と地域自治、施策の優先順位ほかを質問されました。続いて平成22年度予算案の審議のため、予算特別委員会の委員として審議をします。須田和は第1分科会の委員として、議会事務局、会計管理室、選挙管理委員会、監査委員、総務局、教育委員会、企画財政局所管の予算案審議を、3月8日から10日までの3日間行いました。その中で、須田和は公共施設の利用料金値上げ、学力・生活実態調査事業費、選挙管理委員会の常時啓発事業費、警備の費用などについて質問をし、担当課の説明を求めました。

15日、議員総会室で3分科会の報告がされ、それから総括質疑です。5つの会派からそれぞれ3人の議員が順に施政方針や予算案についての意見、質問を述べます。答弁も含めた持ち時間は会派の人数で決められています。「緑のかけはし」の3人もチームを組んで、通告通りの内容にアドリブも加えながらの総括質疑を行ないました。

「緑のかけはし」では、議案採決の可否をどうするかという採決態様と会派としての意見表明について討議した結果、一致した採決態様にならない議案もあり、会派としての意見表明はしないという選択をしました。会派としての責任のある選択と決定をしたことを、改めてみなさまにお伝えしたいと思います。

3月25日 本会議で平成22年度尼崎市予算は成立し、他の議案、議会から提出する意見書3件も可決されました。細菌性髄膜炎ワクチン接種への公費助成の請願は採択、施設利用料金値上げ中止の陳情は不採択という結果で閉会しました。

須田和は、市民に負担が増える議案はできるだけ当事者の声を聴き、考えましたが、将来にさらに負担を送ることはしない、そして、負担増を止めるための実効性のある財源は今はないと判断し、予算案ほか全原案を可決とする採決態様をとりました。

今後も課題をしっかりと見極め、要求よりも提案ができる議員でありたいという想いでいます。また、予算書を受け取り、「勉強会」をし、討議、調査、ヒアリング…審議には、もっと時間がほしいというのが、初の予算議会を終えた須田和の想いです。市民のみなさんの暮らしにかかわってくる予算や条例の制定と改正について、わかりやすく、みなさんに伝えられるように努めたいと考えました。



すだむつみ  
須田和も  
あらためて  
考えました

## はてな？ < 議会用語 Q&A >

わくわくニュース1～3号では、尼崎市議会や役所でよく使われる「短縮語」についてとりあげ、市内外からたくさんコメント、感想が届きました。須田和が議員となり、こうしてニュースを発行したり、インターネットで報告したりするのを読んで、「いままで別世界と思っていた議会を身近に感じることができるようになった」という、うれしい声もいただいています。

今号からはよく聞かれる質問をとりあげ、須田和が調べたこと、理解したことをお伝えします。

Q 「会派」ってなんですか？ 「政党」とは違うのですか？

政策や政治の主義などで同じ価値観をもっている議員が、議会活動をより有効にできるようにと集まって議長に届け出たのが「会派」。「政党」は、政治について同じ考え方を持つ人たちが、意見を集約して政策を立て、それを実現するために統一した行動をするためにつくる団体。須田和は政党に所属していません。所属会派「緑のかけはし」は、2009年6月の尼崎市議選の直後、政党に所属していない議員と政党に所属している議員合わせ7人(うち新人4人)で結成しました。議案に対する可決・否決の採決態様が議員によって異なる結果になることもありますが、情報の交換・共有、そして協力しながら、それぞれの活動を尊重する信頼関係にあります。

## 2～4月の記録 (3月議会を除く)

サイトの「須田和の日記」に書いています。

ご一読ください。

[http://blogs.dion.ne.jp/suda\\_wakuwaku/](http://blogs.dion.ne.jp/suda_wakuwaku/)

### 4月29日、花と緑のフェスティバル(上坂部公園)での須田和と白井文市長

白井文市長は、主催者として緑のはっぴを着ておられます。好天に恵まれあらゆる世代のたくさんの笑顔と出会いました。



	日	行 先
2	2	議員研修「議会運営の基本的事項」に参加(議会) 尼崎市内障害者関連団体連絡会主催「予算への要望書についての尼崎市との話し合い」に参加(障害福祉会館)
	5	議会のあり方検討委員会を傍聴(議会)
	8	市役所等業務改善成果発表会を参観(教育総合センター)
	20	兵庫自治学会コラボレーションプロジェクト「参加と協働のセミナー 対話で始まる”協働”のまちづくり」(労働福祉会館)に参加
3	6・7	あまがさき女性フェスティバル(女性センター)に参加
	11	南武庫之荘中学校卒業式に参列
	19	立花西小学校卒業式に参列
	27	県議会議員稲村和美さん県政報告会に参加(すこやかプラザ) 近松応援団総会に出席
4	8	立花西小学校入学式・市立尼崎高校入学式に参列
	9	南武庫之荘中学校入学式に参列
	12	武庫南幼稚園入園式に参列
	16	会派で視察(動物愛護センター・老人福祉工場)
	19	◎わくわくゼミナール「子育てママ編」開催、市政報告(女性センター)
	20	内閣府「第3次男女共同参画計画策定・中間整理」公聴会に参加(神戸市)
	21	会派で視察(エーリック、近畿高エネルギー加工技術研究所・ものづくり支援センター、クリーンセンター第2工場)
	22	議員研修「行政改革」「議員内閣制地方版」に参加(宝塚市)
	29	花と緑のフェスティバルに参加(上坂部公園)
	30	文教委員会に出席(議会) 福井県立高校家庭科教諭研修で講師を務める(鯖江市)

その他、主な活動は・・・★放置自転車ほか交通安全対策について住民の方のご意見を聴き、市に相談し、改善を求めています。★子育て真っ最中の母親たちが学びや交流、まちづくり参画について、考え行動するサポートをしています。★公共施設の利用やサービスについてご意見を聴きます。★人権問題について当事者の声を聴きます。



◎ 4月19日、子育てママたちと企画した「第1回わくわくゼミナール」を開催。自分のことが後回しになりがちな忙しい生活の中で、くふうをして・・・と同じく子育てママの美容師によるアドバイスをたくさんもらい、笑い声の絶えない時間でした。その後「尼崎市子どもの育ち支援条例」について制定への過程や条文のポイントなどをお話し、市政への関心を持つこと、また今の子育て環境は？と意見交換や情報交換をしました。子育てママ対象のセミナーも続けながら、「シニアとよばれるのは、ちょっと抵抗あり・・・」という年代の方のためのセミナーと須田和の市政報告の会を夏に開催しようと企画をしています。

## 議会・委員会を傍聴しませんか

- 本会議傍聴の問い合わせ：議会事務局 総務課へ（電話 06-6489-6103）
- 委員会傍聴の問い合わせ：議会事務局 議事課へ（電話 06-6489-6112）
- 生中継で、また後日録画で視聴ができます  
<http://www.discussvision.net/amagasaki/index.html>

わくわくゼミナールに興味をお持ちの方、どうぞお気軽にお電話・メールをください。

## 6月議会の日程

6 月		(4月27日議会運営委員会で決定)	
1	火	10時～	議会運営委員会
4	金	16時～	議会運営委員会 <質問の通告締切>
8	火	10時30分～	本会議(提案理由説明)
9	水	10時～	本会議(一般質問)
10	木	10時～	本会議(一般質問)
11	金	10時～	本会議(一般質問)
14	月	(予備日 一般質問)	
15	火	10時～	議会運営委員会
16	水	常任委員会	いずれかの日に須田和が所属する
17	木	常任委員会	文教委員会が開催されます
18	金	常任委員会	
22	火	10時～	議会運営委員会(採決態様) 会派代表者会
23	水	10時30分～	本会議(委員長報告、採決等)

● 委員会、本会議とも傍聴ができます。委員会は開会15分前までに議事課で手続きを、本会議は開会30分前から傍聴受付で申し込みください。傍聴を希望される方、また経験がないのでとまどっているという方、どなたでもどうぞご一報ください。  
須田和が何をいつ質問するかは、決まり次第サイト「須田和の日記」でお知らせします。また、議員室(06-6489-6950)にお電話をください。

### すだ むつみ 須田 和のプロフィール

- 1956年広島県生まれ／大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)インドネシア語学科卒業／商社勤務の後、専業主婦 2児の子育て／「子連れ応援情報誌」自費出版など子育て中の母親の視点で活動／子どもは二人 息子は海外赴任、娘は0歳児の子育て中
- 三田市立女性センター、兵庫県立男女共同参画センター勤務／文部科学省、兵庫県、自治体の委員を歴任、前全国女性会館協議会理事／企

業・自治体職員の研修講師(人権・ワークライフバランス・男女共同参画など)

- 2004年7月～2009年3月 民営化された尼崎市女性センター・トレピエの初代民間人所長
- 2009年6月 尼崎市議選に無所属で立候補。3434票(44人中20位)で当選／7人で会派「緑のかけはし」を結成／文教委員会副委員長・男女共同参画審議会委員・都市美審議会委員・鉄道施設整備促進特別委員
- [http://blogs.dion.ne.jp/suda\\_wakuwaku/](http://blogs.dion.ne.jp/suda_wakuwaku/) 「須田和の日記」でも活動を発信



● 気候が不順で桜は長く愛でることができましたが、4月下旬でもコートや暖房が必要な春でしたね。いかがお過ごしですか？ 市立の幼稚園、小学校、中学校、高校の入学式、団体の総会、イベントなどで多くの方と出会いもありました。‘わが町 あまがさき’が厳しい財政状況であることを理解し、一人ひとりが生

活と仕事や活動のバランスがとれるような未来のために市民はどうしたらよいかと考えておられる方が多いことを実感しました。議員として10カ月。須田和ももっと聴き、もっと考え、行動することをもっと加速したいと思います。

- 次号は7月下旬に発行予定です。発送作業の応援をしてくださる方、どうぞよろしくお願いいたします。